

2018年度

スポーツ理学療法運営担当者研修会

**国際競技大会等での
活動に向けた
人材育成プログラムの概要**

**スポーツ支援推進執行委員会
2020オリ・パラ理学療法育成検討小委員会**

小林 寛和

●諸外国からの参加選手

- ①選手村内診療所における医療およびコンディショニング
- ②選手村外サポートハウス等におけるコンディショニング
- ③競技会場におけるコンディショニングおよび急性期処置
- ④後方支援病院での医療および急性期処置 ……

●日本代表選手団 & 候補選手

- ①期間内の代表チームの活動における医療およびコンディショニング
- ②準備期間における医療およびコンディショニング ……

●事前キャンプ来日選手

- ①当該チームの活動における医療およびコンディショニング ……
(期間内の業務につながっていく?)

●その他

- ①他国の医療スタッフの理学療法士への情報提供、案内、国際交流
- ②観客、訪日者への医療・理学療法サービス ……

育成すべき人材像

1. **スポーツを実践する対象者**に、適切な理学療法が提供できる。
2. **ハイレベルのアスリート**に、適切な理学療法が提供できる。
3. **医療の現場のみでなく、スポーツ活動の現場**においても、対象者(上記1, 2)の要求にも対応できる。
4. 国際的なスポーツイベントにおいては、外国からの参加者にも**適切なコミュニケーション**に基づいて、理学療法が施行できる。

スポーツ理学療法研修会の概要

次の(1)～(3)の3つの研修会により構成される。

(1) スポーツ理学療法研修会：総論

- ・各種スポーツ競技大会における業務にあたって、必要となる基礎的知識を習得するための研修会である。
- ・スポーツ理学療法に関する専門的な内容の他に、大会に関する内容も含む。
- ・この研修会に含める内容は、総論となる。
- ・科目としては、スポーツ理学療法総論、国際競技大会、障がい者スポーツ、アンチドーピングの各項に関する基礎知識が含まれる。
- ・座学で1日研修会とする。

(2) スポーツ理学療法研修会：基礎

- ・スポーツ理学療法の実践にあたって必要となる基本的な内容について、知識や技能を習得ための研修会である。
- ・この研修会に含める内容は、評価、運動療法、物理療法、徒手療法、補装具になる。

(3) スポーツ理学療法研修会：応用

- ・競技スポーツの活動現場におけるスポーツ理学療法の実践内容、方法を習得するための研修会となる。
- ・この研修会に含める内容は、急性期への対応、現場実習(チームや個人の日常的な活動や各種競技大会での活動)になる。
- ・実際の業務場面や対象者を想定し、必要な知識・技能を習得し、各種大会に向けて実践的能力を養う機会としたい。
- ・受講者の理解度や技能の確認機会にもしたい。

→ 研修会を通じて、コンディショニング、リコンディショニング等にも対応できるようにする。
障がい者スポーツへの介入も促進する。

→ この人材育成プログラムは、来る国際競技大会等の開催に、
必要な人材をレベル・人数ともに要望に応じて供給できるようにするための
特例措置ともなる。

スポーツ理学療法研修会の概要

名称	形態	日数	内容
総論	講義	1日	総論
基礎	講義	2日	評価
			運動療法
			物理療法、徒手療法、補装具・補助具
応用	講義・実技	2日	急性期の評価と対応
			スポーツ現場における理学療法の実践

スポーツ理学療法研修会修了者として登録

現場実習、実技トレーニング

研修会受講中、登録後、受講者自身が、所属士会等におけるスポーツ現場、障がい者スポーツ現場での実習を計画、実践

研修会：応用

BLSに関する講習会
(委員会が指定する日赤、消防署等)
を修了

研修会：基礎

研修会：総論

想定される活動

- ・所属士会における
各種競技大会、障がい者スポーツ大会
各種競技での国際大会
諸外国の事前キャンプ
- ・日本理学療法士協会からの案内による事業

その他(予定)

- ・推進協力者の受講を推進
- ・組織委員会への推薦にあたって受講を推進

●競技種目特性に基づいた

コンディショニング・リコンディショニング・外傷予防を目的とした理学療法

・エクササイズ ・物理療法 ・補装具 ・テーピング ・その他

●機能評価

・スポーツ外傷・障害を有する対象者への機能評価

●急性期対応

・スポーツ外傷後・疾病後の急性期対応(評価と処置)

・運動器外傷 ・頭部外傷 ・熱中症 ・その他

●スポーツ実施環境

・安全なスポーツ実施にあたっての確認

・使用用具 ・路面、床面 ・気温、湿度(WGBT) ・水分補給

●障がい者スポーツ

・特殊性を考慮した対応

●その他 ・対象者とのコミュニケーション(語学)

・記録と情報共有:関係者(コーチングスタッフ等)との情報共有 ...

国際競技大会等での活動に向けた人材育成プログラム

関わる人材の役割区分

- **スポーツ理学療法運営担当者**
- **スポーツ理学療法推進協力者**
- **スポーツ理学療法研修会修了者**
- **研修会講師**